

## 9. 探 査 結 果

### 9-1 水平探査（一次・経層）及び鉛直探査

水平探査（一次）・経層探査を実施した結果、磁気異常点が8点検出され、これら磁気異常点を磁気量別に分別した結果を下表に示す。

また、鉛直探査の結果、磁気異常点は検出されませんでした。

表 9-1 磁 気 量 別 一 覧 表

		異 常 点 数	1～4	5～9	10～24	25～49	50以上
			ガウス・cm <sup>2</sup>	ガウス・cm <sup>2</sup>	ガウス・cm <sup>2</sup>	ガウス・cm <sup>2</sup>	ガウス・cm <sup>2</sup>
水平探査（一次）		5	1	2	1	1	0
経層探査	1回目	5	0	0	4	1	0
	2回目	1	0	0	1	0	0
	3回目	1	1	0	0	0	0
合 計		12	2	2	6	2	0

### 9-2 確認探査（一次・経層）

水平探査（一次・経層）で検出された磁気異常点すべてについて確認探査を実施した結果、平成24年1月25日の経層3回目の異常点No.1より砲弾が発見され、同日、自衛隊の不発弾処理隊によるの識別の結果、発見弾は火薬が残っていて危険な物との判断により回収が不可能であり、後日現場にて処理することになった。

また、その他の磁気異常点については、主に鉄筋や鉄屑等の雑鉄類が確認された

尚、発見された異常点の磁気量・埋没深度を「磁気異常測定値一覧表」に示し確認された異常点の品名・寸法を「確認異常物一覧表」にその平面的位置を「異常点位置図」に明記してある。

### 9-3 鉛直探査

32点の鉛直探査を実施した結果、磁気異常は検出されませんでした。

#### 発見弾の処理について（平成24年1月25日発見）

あす不発弾処理

那覇市安里

4日午前10時から、那覇市安里のマンション建築工事現場で1月25日に見つかった米国製5寸艦砲弾1発の処理作業が行われる。現場から半径75mが避難対象で、避難区域内とその周辺の市道が通行止めとなる。約135世帯、14事業所の約373人が対象。現地対策本部は泊小学校に設置し、避難場所は同小の多目的教室となる。午前9時15分に避難開始、同50分周辺交通規制を始める。午前中には処理を終える予定。

市によると、避難区域に幹線道路がないことなどから平日に処理する。

平成24年4月4日琉球新報の朝刊より抜粋